

(第2回 午後)

2023(令和5)年度入学試験問題

国語

(試験時間：50分)

《注 意》

- (1) 問題は ～ まであります。
- (2) 解答はすべて解答用紙に書いてください。
- (3) 受験番号、氏名を忘れずに書いてください。
- (4) 解答用紙のみ回収します。
- (5) 解答に際して、句読点、符号などが含まれる場合には一字分として数えます。

城西大学附属
城西中学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。作題の都合上、一部表記を改めた箇所があります。

ユネスコは二〇〇九年、現在六千から七千ほどある世界の言語のうち、約二五〇〇の言語が消滅しょうめつの危機にあると発表しました。そのうちの八つが日本で話されている言語で、アイヌ語、八重山語やえやま、与那国語よなぐに、八丈語はちじょう、奄美語あまみ、国頭語くにがみ、沖縄語、宮古語みやこです。とりわけ深刻な危機に面しているのがアイヌ語で、すでに話者は数名しか残っていないと言われています。

1

言語が消滅の危機にさらされる事情は様々です。極端な場合、戦争などで話者が殺されて滅ほろんでしまうという場合もあるでしょう。あるいは、植民地として宗主国そうしゅこくの言語をキョウセイaされ、自分たちの言語を禁じられて継承できなくなるということもあります。しかしそのように外からの力が加わった場合だけでなく、話者みずからその言語を話さないことを選ぶことによって滅んでいく場合もあります。

日本でも明治以来、方言は標準語よりも低い地位に置かれ、恥ずかしいものであるという意識をうえつけられてきました。特にアイヌや沖縄の人々はシユウシヨクbなどでも厳しい差別に直面しましたので、^①自分の言葉を隠し標準語を話そうとする圧力がはたらいたことでしょう。

社会的により高い地位を持つ言語を話せた方がその人の成功につながりやすいのは確かです。^②I、特に若い世代がより威信いしんの高い言語に乗り換えたり、親が子どもに自分の言語を継承させなかったりすることがあります。このようにして、地方の言語が衰退すいたいしていくことになります。

国家の言葉になっていれば、国民がみなそれを学びます。日本語は日本の国語ですし、一億人の話者を数える、世界で十指に入ろうという大言語ですから、すぐに消滅する心配はないでしょう。しかし、^③英語との関係で見れば、全く安泰あんたいというわけでもありません。

2

現在、事実上の世界共通語は英語です。ビジネスでも政治でも学問でも、英語が使えなければ世界の人とわたりあつていけない。だから英語を勉強しなければだめだ、と大人にも言われるし、みなさんもそう思うでしょう。なかには、英語圏に生まれた人は何の苦労もなく身につ

けた言葉をそのまま使えるのに、自分は一生懸命勉強しなくてはいけないなんて不公平だ、と思う人もいるかもしれませんね。しかし現実には現実です。実際、社内の公用語を英語にする企業が出てきたり、一部の大学の講義が英語で行われたりしています。そのぶん日本語が使われる機会は減っているわけです。この流れがどんどん加速していったら、ちょうど平安時代の漢文のように、公的なことにはすべて英語が使われて、日本語は A なおしゃべりにしか使われないという日が来るかもしれません。 3

ならばいつそのこと、世界中の人がはじめから英語だけを覚えて使えばいいじゃないか、という意見もあります。それも イチリ があるような気がしますね。日本でも小学校から英語を勉強するようになりました。もっと小さい頃から、国語を全部やめて英語をやるようにすれば、もっと楽に上手に話せるようになるかもしれません。 II、たとえばみんなで英語だけを使

うようにしても、世界中が全く同じ英語を使うようにはならないのではないかな、と思います。今も、同じ英語圏であってもイギリス英語とアメリカ英語とオーストラリア英語は発音や語彙が異なりますし、インドやシンガポールもそれぞれに特徴的な英語が使われます。これ以外にも第二言語として英語を話す人々が世界中にいて、それぞれに自分の第一言語から影響を受けて、クセや特徴のある英語を話します。Englishes と複数形で呼ばれることもあるように、英語はもはや一つの言語と言い切れないほどのバリエーションがあります。世界に広がれば広がるほど、^③ 純粋な形を保つことは難しくなります。

でもこれは無理のないことですね。自然環境が違い、社会のしくみが違い、文化や慣習が違う人たちは、違う言語を必要とするのです。それに、自分の考えや カンカク にぴたりくる言葉を探し、それを親しい人と分かち合おうとする時、むしろほかの人にはわからない言葉で通じ合おうとするものです。みなさんも仲のいい友だちと、グループの中でしか通じない言い方をしたりしませんか。若者言葉を一生懸命マネしようとする大人はちょっと鬱陶しいと思ったりするでしょう。 4

そうだとすれば、今ある言葉を全部やめて英語に統一してしまおうというのは、あまり意味のない暴論ではないでしょうか。その土地の言語は、自然や文化と結びついた歴史を背負って存在していて、今生きている人たちの生活によって常に生まれ変わり続けています。一つの言

語が消滅するということは、その言語が持っていた広がりとお興行きのある世界がまるごと消えるということです。だから、多くの人が消滅の危機にある言語を何とかして守ろうとしているのです。

5

（『国語をめぐる冒険』所収 仲島ひとみ 「言葉の地図を手に入れる」

※1 宗主国…植民地を支配する国のこと。

※2 威信…関係する集団の中で抜きんできた力があり、周りを圧倒する雰囲気があることとそれによる信頼感。

※3 衰退…少しずつその機能が衰えたり、活力が失われたりする状態にあること。

※4 語彙…個人が使用する単語のすべて。

問一 —— 部 a～d のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 空らん

I	・	II
---	---	----

 にあてはまる言葉としてふさわしいものを、次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア そのため イ ところで ウ でも エ また

問三 —— 部①「自分の言葉」の指す内容を本文中から三字以内で抜き出して答えなさい。

問四 —— 部②「英語との関係で見れば、全く安泰というわけでもありません」とありますが、それはなぜですか。本文中の言葉を使って六十字以上七十字以内で説明しなさい。

問五 空らん

A

 にあてはまる言葉としてふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア フィクション イ グローバル
ウ プライベート エ クラシカル

問六 ―― 部③「純粋な形を保つことは難しくなります」とありますが、その理由が書かれている一文を五十字以内で探し、最初の五字を答えなさい。

問七 本文中には次の一文が抜けています。もとに戻す時にふさわしい場所を 1 ～ 5 の中から一つ選び、数字で答えなさい。

言語というものは、バリエーションが生まれていくことが自然なのです。

問八 筆者の伝えたかった内容としてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本語を始め、世界には消滅の危機にある言語が多数存在していて、多くの人がその言語を守ろうとしている。

イ 言語にも地位があり、外国からの圧力を受けたり自分の意思で話さなくなったりすることが、特定の言語を衰退させる。

ウ 国家の言葉になっていれば、それを第一言語として国民皆が学ぶことになり、言語として継承されていく。

エ 英語は世界共通語として認識されているが、英語を統一言語にしてしまうことはできない。

問九 人々の生活に関わる「言語」とはどのような特徴があると述べられていますか。本文中の言葉を使って六十字以上六十五字以内で説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「おう、久しぶり」

『あ、出た』

少しかすれたような懐かしい声が、電話の向こうから聞こえた。重久信之、国武大学の四年。同じ駅伝部だった。

オレは日暮荘には入らず、スマホを耳にあてたまま、真つすぐ隅田川のほうに向かって歩いた。

「出たってなんだよ、^①人を幽霊みたいに言うなよな」

『あ、わるい』

オレが笑うと、電話の向こうで重久がほっとしているのが見えなくても伝わってくる。気が小さいというか、いいやつというか、どちらにしても相変わらずだなと思う。

『前平、元氣？』

「おかげさんで」

『そうだよね、うん、そっか、よかった』

「なんだよ、おまえは？」

『うん……』

どこか^②くぐもった返事に、ん？ と思っていると、「あのさ」と声が続いた。

『オレ、引退しようと思って』

「はっ？」

四年の夏まで続けて、ここで引退するやつがいるか？

『膝がさ、六月の予選会もだめだった』

ああ、とことばをのんだ。国武大学の駅伝部のホームページには、選手一人ひとりの記録がアップされている。そうしょっちゅう見ているわけではないが、つい最近見た。重久らしくないタイムに目を疑い、ケガでもしたのだろうかと気になっていた。

「知ってる」

『そっか』

「膝、ひどいのか？」

『まあね』

陸上に限らず、スポーツ選手にとって一番怖いのはケガだ。といっても、つねに万全な選手などほとんどいない。大なり小なり、みんなどこかに爆弾を抱えていて、それとどううまく付き合っていけるかが、選手としての を分ける。

『これまでも やってたって感じだから』

「そうか、だろーな」

『前平、オレここで辞めてもいいかな』

「……なんでオレの許可がいるんだよ」

胸がうずいた。

ちっせえな、オレは。

③ こうして電話してきた重久に言わせようとするなんて、ちっせえ。

なにも重久が悪いわけじゃない。タイミングだ。いや、実力。実力、それだけだ。

親父とおふくろが死んだのは、大学一年の冬だった。自宅が火事になり、ふたりとも死んだ。警察から、出火元は石油ストーブだと聞かされた。火事が起きる数日前から雨が続いて、狭い家の中には、洗濯物があちこちさがっていたらしい。それが、石油ストーブに落ちて火事になったようだ。ふたりはたぶん、火を消そうとして、煙に巻かれたのだろうと言われた。

葬式を出したあと、残った貯蓄は、親父のやっていた板金屋の借金を返すとキレイに消えた。もっとも借金といってもたいした額ではなく、親父が仕事を続けていれば、充分返していける額だったのだと信用金庫の担当者に言われた。

大学は駅伝部の特待枠に入れば、授業料など免除される。一年生のときの公式記録を見ると、二年生にあがってもギリギリその枠に入れると監督に言われていた。

④ でもそうはならなかった。最後の記録会で重久が記録を大きく更新して、オレは洩れた。たぶん、そのときに気持ちが折れた。あれもこれも、いろんな面で。

奨学金を申しこむとか、バイトをしたらとか、大学を続ける方法はいくらでもあったはずだ。でも、そこにしがみつく気持ちにはなれなかった。

大学を辞めるとオレが言ったとき、重久は「ごめん」と声を震わせた。そんな重久をオレは殴った。

ごめんってなんだよ、なんでおまえにそんなこと言われなきゃならないんだ。

……惨めすぎるだろ。

でもことばにはしなかった。できなかった。

ただ、オレは「走れよ」とだけ言った。

「走る。前平のぶんも、オレ走るよ」

あるとき、重久はそう言って泣いた。

⑤ オレ、引退しようと思って――。

そんなこと、オレに報告することも了承を得る必要もない。重久はなににも悪くない。責任を感じることもなくてひとつもない。

ただどおまえには、見えてたのかもしれないな、^⑥オレの本心が。見えていて、それでも全部受けとめてくれて。

いいやつすぎるだろ。

広い川の真ん中を、白い水しぶきを散らしながらすーっと水上バスが走っていく。

ぎゅつと拳を握る。

オレは、おまえのせいにして逃げた。重久にとんでもない荷物を、三年も背負わせた。

「重久」

『うん』

「おまえ、走るの好きか」

『たぶん。うん、好きだよ』

「きついけどな」

『だね』

重久が笑った。

ごめんな、ごめん。

『へ？ なに？』

「なんも言ってるええよ」

『あ、うん』

「あのだ」

『なに？』

「オレ、おまえの膝の具合もわかんねえし、適当なこと言えねえけど」

『うん』

「オレは、^⑦走ってるおまえ好きだよ。うん。好きだ。ってヘンな意味じゃねえよ」
わかってるよと、重久が笑う。

「すげえって思う。ケガ、治せよ。そんで、もう一回走れよ」

いつまでも背負ってないで荷物降ろしてさ。背負わせたオレが言うことじゃないよな、そんなことはわかっている。だけど、いつまで背負い続けるんだよ。

全部降ろしたら、もっと走れんだろ。

「おまえはもっと走れるよ。オレが保証する」

『前平……、オレ、オレ』

ずずつと鼻水をすすする音が聞こえて苦笑した。

「泣いてんじゃないよ。そうだ、オレ、いま車夫やってんだ」

『シャフ？』

「人力車ひいてんだよ。走る仕事だ、すげえだろ」

『うん』

「オレも好きだから、走るの」

『知ってる』

「だよな」

重久、オレはいまちゃんと自分で立ってるぞ。

『前平』

「ん？」

『ありがとう』

「^⑧ばーか、ばかばかばーか。じゃ、またな」

電話を切ってふーっと長い息を吐いた。

(いとうみく 『車夫』)

問一 —— 部①「人を幽霊みたいに言うなよな」とありますが、ここで用いられている表現技法としてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 直喩法 イ 擬人法 ウ 倒置法 エ 対句法

問二 —— 部②「くぐもった」とありますが、ここでの意味としてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 疑っている イ 心配そうだ ウ はっきりしない エ ほっとする

問三 空らん X には、「幸・不幸がはっきり分かれること」という意味になる、漢字二字の熟語が入ります。上の漢字と下の漢字の意味が反対になる熟語を考えて、答えを書きなさい。

問四 空らん Y にあてはまる言葉としてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア うきうきと イ そろりそろり ウ ふらふら エ だましだまし

問五 ―― 部③「こうして電話してきた重久に言わせようとするなんて、ちっせえ」とありますが、前平が重久に言わせようとしていたこととしてもっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 不運にも両親が死んでしまい、前平が一人で生きていることへの慰め。なぐさ

イ 自分が前平の将来を変えてしまうきっかけを作ってしまったことへの謝罪。

ウ 前平を何とか駅伝部から追い出し、運よく自分が残れたことへの感謝。

エ 部員同士の仲もよくないので、前平は辞めて正解だったという励まし。

問六 ―― 部④「でもそうはならなかった」とありますが、それはどのようなことですか。「そう」の中身を明らかにして、本文中の言葉を使ってわかりやすく答えなさい。

問七 ―― 部⑤「オレ、引退しようと思って――」とありますが、ここには前平に対する重久の気持ちが込められています。それはどのような気持ちですか。それを説明した次の文の空らんにあてはまる適切な言葉を考えて、それぞれ答えなさい。

重久は前平に、（ A ）と約束したにも関わらず、（ B ）
ことに対して（ C ）と感じている。

問八 ―― 部⑥「オレの本心」とありますが、それはどのような内容ですか。三十字以上四十字以内で説明しなさい。

問九 ―― 部⑦「走ってるおまえ好きだよ」とありますが、このとき前平は重久に何を伝えようとしていますか。もっともふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ケガの具合が分からないのに、一方的に適当なことを言っではいけない。

イ 重久の走る姿がとてもきれいなため、自分は昔から重久にあこがれていた。

ウ 自分のことは気にせずに、重久らしく、生き生きと楽しく走ってほしい。

エ 重久は自分のことを気にしすぎているので、人の目を気にせず生きてほしい。

問十 ―― 部⑧「ばーか、ばかばかばーか。じゃ、またな」とありますが、このときの前平

の気持ちとしてふさわしいものを、次のア―エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 昔の話をしていると、学生時代が懐かしく、昔に戻りたい気持ちになり、近々大学に
挨拶しに行こうと思っている。

イ 駅伝部を辞めるために自分の許可を取ろうとする重久のことを心の底からばからしく
思い、からかっている。

ウ 二人の間のわだかまりが解けて、今は車夫として走る自分に自信を持ち、前を向いて
生きていこうとしている。

エ 過去の嫌な記憶にとらわれて、自分を大切にしてこれなかった前平は自分に対して
ばかと連呼している。

三

次の問いに答えなさい。

問一 次の①～④の空らんに入る言葉を自分で考えて、文を完成させなさい。

- ① あの人のは気の置けない人だから、
。
- ② 情けは人のためならずというから、
。
- ③ 取りつく島もなかったので、
。
- ④ 子どもたちは一糸乱れずに、
。

問二 次の①～③の空らんに入る漢字を選択肢ア～クの中から一つずつ選び、慣用句を完成させなさい。

- ① () が切れる。
- ② 仏の () も三度まで。
- ③ () は口ほどにものを言う。

ア 爪 イ 目 ウ 指 エ 顔 オ 腰 カ 足 キ 頭 ク 手